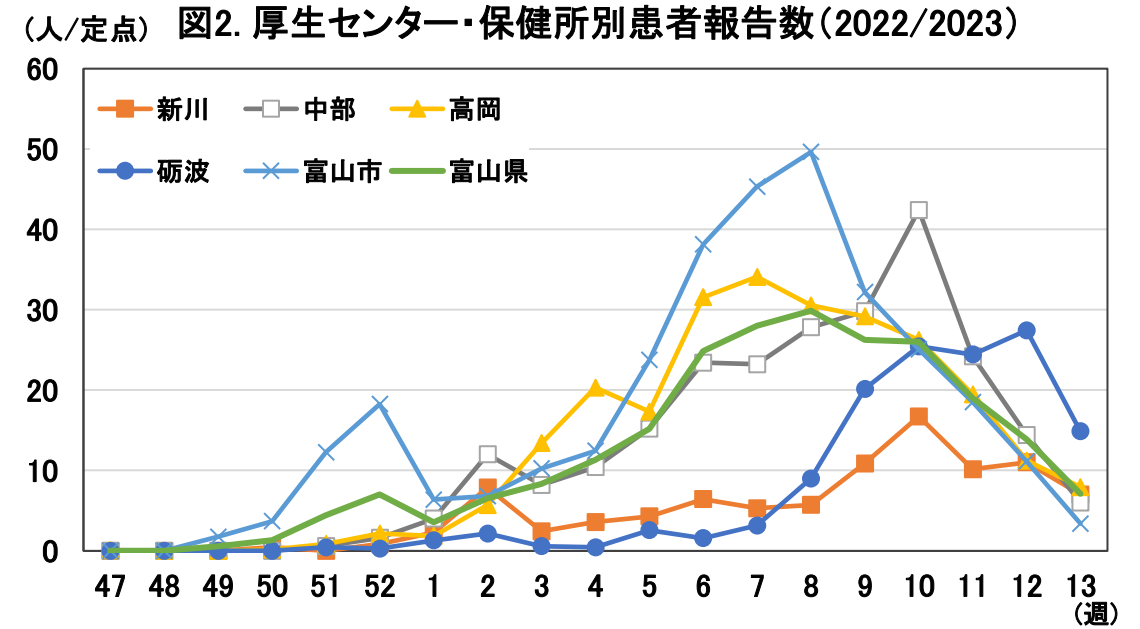
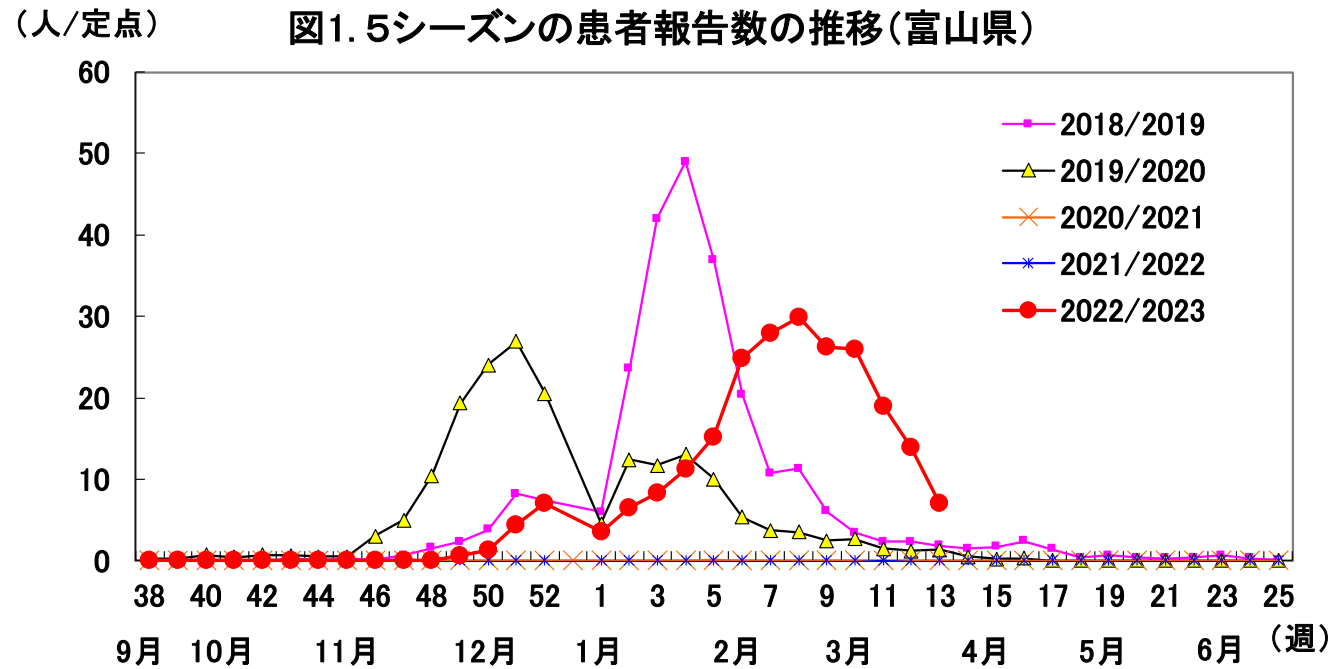


# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第13週(2023/3/27~4/2) 感染症発生動向調査速報値 (2023/4/5時点)】



- 今週の報告数は7.08人/定点となり、注意報発令の基準である10人/定点を下回った。(図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、先週増加傾向であった新川、砺波管内を含め、全ての管内で報告数が減少した。

図3. 年代別割合(富山県、第13週)

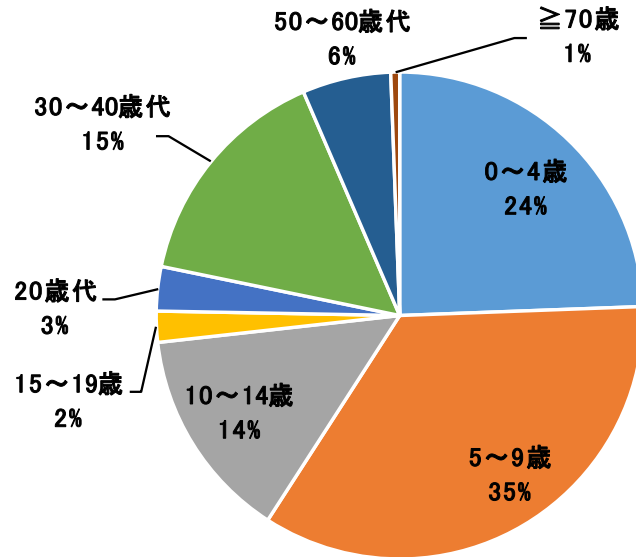
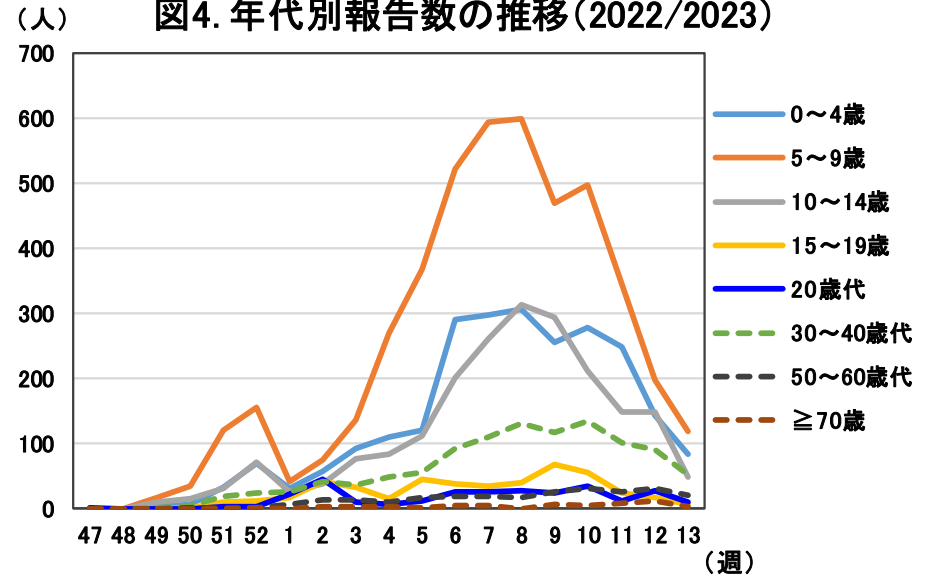


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第13週の年代別割合（図3）では、15歳未満の小児が73%を占め、先週と変わらなかった。
- 年代別報告数の推移（図4）では、すべての年代で減少傾向が続いている。
- 学校が春休みのため、学級閉鎖はなかった。

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第12週)

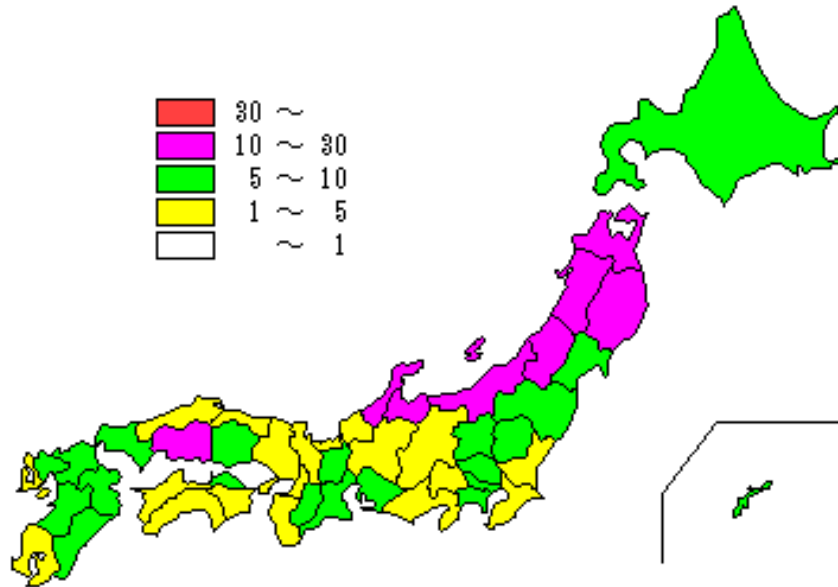
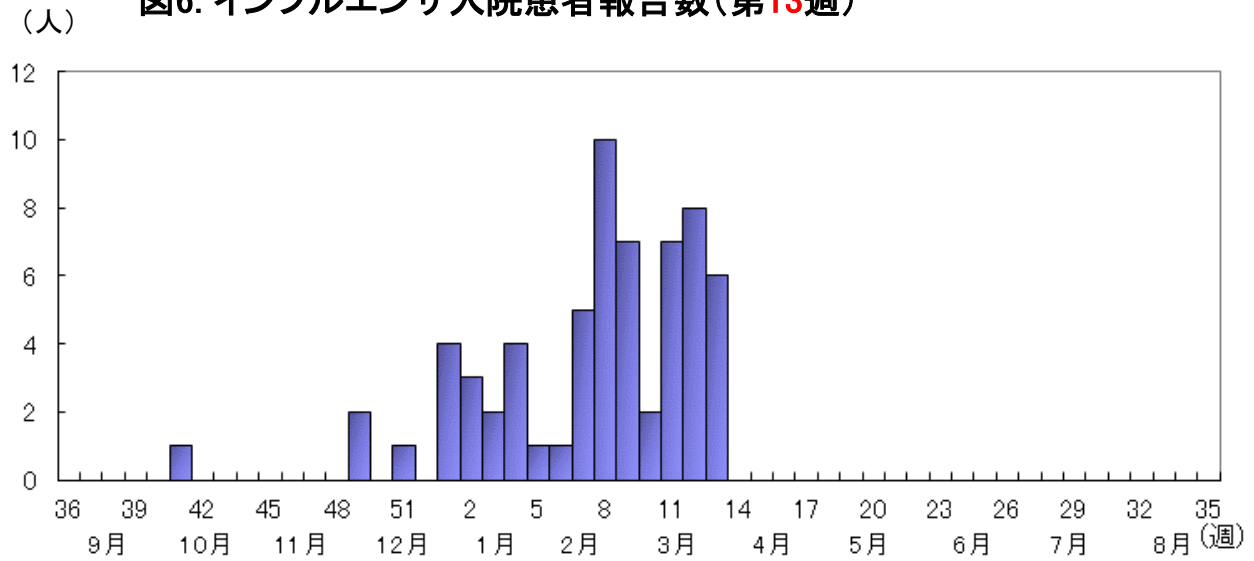


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第13週)



- 全国の定点あたり報告数は第12週に6.44人/定点となり、前週（8.42）より減少した。なお、都道府県別（図5）では8県で注意報レベルの10人/定点を超えている。警報レベルの30人/定点を超える都道府県はなかった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第13週に6例（小児1例、20歳代2例、70歳以上3例）の報告があった。